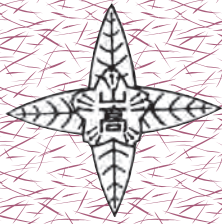


## 第77号

編集・発行  
日本大学山形高等学校  
図書部  
図書委員会

発行日  
令和4年2月22日

(株)大風印刷



日大山形

# 図書館報

## 社会を生き抜く力

教諭 星名 始(情報)

## 私の読書道

第22回

新年を迎え、晴れやかな気持ちに水を差すように世間ではオミクロン株が猛威を振るっている。新型コロナウイルスによって私たちの生活は大きく変わってしまった。人々は密を避け、社会ではオンラインで授業や仕事をするのが当たり前となった。メタバースという言葉が世間を賑わせ、オンライン上の仮想空間に人々が集まっている。また、肉体労働や単純作業の仕事は次々に機械化されている。人間に任せるよりも正確でコストがかからないため、人が機械に置き換えられ、仕事に就けない人が増えている。一方で、人手不足にあえぐ業界も多くあり、世の中は過去に類を見ない変革期を迎えていることを実感する。このような社会で私たちに求められるのはどのような力なのか。

『東大物理学者が教える「考える力」の鍛え方』という一冊を紹介したい。著者であり東京大学大学院で教授をしている上田正仁氏が自身の経験を通じて、高校・大学・社会で求められる力とその訓練法について述べている。高校生が考える頭がいいとはどのような力を指すだろうか。おそらく、テストでいい点が取れる力と答えるのではないか。もちろん頭のよさを図る指標の一つにはなる。本書ではこの力のことを「マニュアル力」と呼んでいるが、マニュアル力だけでは大学・社会で成果を残すことは難しいという。

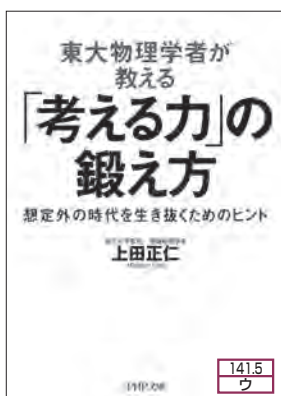
大学ではマニュアル力ではなく、一つのテーマについて長く深く考えることが要求される。これはマニ

アル力と何が違うのか。高校生までは多くの科目を学び、記憶してテストに解答することが求められる。つまり、答えは一つに決まっている問題を解く。一方、大学では専門科目について学ぶ。その中で、答えが一つに定まっていないものや、答えが解明されていない問題と出会う。また、問題そのものが曖昧で、問題を定義することも必要になる。

高校までに求められる力と大学で求められる力が違うことは理解できたと思うが、だからと言って高校での学習をおろそかにしてはならない。大学で深く学び、答えのわからない問題と向き合うためには、基本的な知識、つまりマニアル力を身につけていなければ、向き合うことすらかなわないのだ。

私の大学生活を思い返しても同じ経験をしたことに気づく。研究室に出入りするようになるころから、求められる能力が変わっていった。研究では今までの知識を総動員し、論文を読み、新たな手法を考えることが求められた。一つのテーマに一年間向き合うことになり、すぐに結果が出ず、もがき苦しんだことが思い出される。この経験は社会に出てからも大いに役に立った。一般企業での業務は問題の発見から定義・解決法を見つけるために試行錯誤する日々であった。マニアル力だけでは到底太刀打ちできなかっただろう。

本書は高校生が読んでも多くの学びが得られる一冊となっている。高校卒業後、大学で活躍するためにも是非一読いただきたい。



※このコーナーは、図書選定委員の先生方のリレー形式となっています。

■令和3年度 日本大学山形高等学校芸術鑑賞会

# エンターテインメント・パフォーマンス・バンド 「EMPTY KRAFT」

令和3年6月24日(木)実施 会場：山形市民会館

## 音楽の可能性

一年七組 工藤隼瑛

六月に芸術鑑賞会が行われ、「エンプティ・クラフト」というダンスとミュージシャンの混成グループを鑑賞した。開演前、コロナウイルスの真っ只中で、周りが静寂に包まれた状況だったが、公演中、エンプティ・クラフトの演出に皆が魅了され、大盛況だった。

特に会場が盛り上がったのは、エンプティ・クラフトが踊るBTSの「ダイナマイト」であった。しかし、普段から聴いている曲とは一味違っていた。レゲエ・ジャズという、異なったジャンルのダイナマイトは、皆を音楽の世界へ引き込んだ。また、「ボックスステップ」というダンスの技法を学んだ。簡単にできるこの技は、誰しもが気軽に音楽を楽しめることを実感した。

今年の音楽鑑賞会は、音楽を聞き、踊りながら体感することとで素晴らしい感を感じたのではないだろうか。そして、ジャンルによって同じ曲でも雰囲気が変わることは、音楽の力でもあり、無限の可能性を秘めているのではないだろうか。その音楽の可能性が、コロナ禍の皆を励ました芸術鑑賞会であった。



## 令和3年度 図書館講座

～本のPOPを作ろう～



例年、幼稚園と学童クラブに行き絵本の読み聞かせを行っていますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度に続き実施できませんでした。今年度の図書館講座も図書委員会の委員長や副委員長を中心とする執行部のリーダー研修会として開催し、一・二年生五名が参加しました。三年生から委員会を引き継いで間もない執行部が、本を通してお互いの事を知り、本の魅力を伝える楽しさを知る良い機会になればと思い、各自のおすすめ本のPOPを作ることにしました。

を探し、POPに書きたい内容をイメージします。その後本のイメージに合うようなPOPを作る用紙やペンを選び、それぞれが考えてきたことを自由に描きます。完成したPOPは、紹介する本と一緒に展示しました。

POPをじっくり見る人や本を手に取り読む人、実際に借りる人など様々な姿があり、皆さんの読書をするきっかけの一つになったのではないのでしょうか。

### 参加者の感想

- ・ 難しかった
- ・ 書店のPOPのようにはいかない
- ・ 初めて作ったけど楽しかった
- ・ お互いの好きな作家を知ることができた
- ・ 自分のおすすめ本が借りられたり、見てもらえると嬉しい





# 今年度一番本を読んだクラス！ 多読クラス賞

## ◆ 令和3年度 多読クラス賞 ◆

- ◆ 1年生の部 (学年平均0.9冊/人)  
**8組 (クラス平均3.8冊/人)**  
次点：9組 (クラス平均1.1冊/人)
- ◆ 2年生の部 (学年平均1.1冊/人)  
**10組 (クラス平均3.1冊/人)**  
次点：2組 (クラス平均2.0冊/人)
- ◆ 3年生の部 (学年平均0.7冊/人)  
**10組 (クラス平均2.1冊/人)**  
次点：7組 (クラス平均1.6冊/人)

※令和3年4月～11月までの貸出冊数÷各クラスの数で集計

今年度の各学年の多読クラスは上記の通りです。多読クラス賞は毎年十一月までの貸し出し冊数の平均値で決定しています。今年も各学年の特色が出た結果となりました。

一学年は八組の単独トップ！特進コース女子、頑張りました。二学年は一番多く読む学年で、学年の平均値も一番高いです。三学年は二学年ほど多くはないですが、幅広くみんなが本を読んでいるという分布です。

受賞おめでとう

### ＜受賞クラスの図書委員のコメント＞

#### ◆ 1年生の部

八組：「図書委員である私が読んでいないのが恥ずかしいことなので来年度は読みたい。」

#### ◆ 2年生の部

十組：「来年もとれるように頑張ります。」  
「すごいなと思います。もっとたくさんいろいろな本を読んで見聞を広めたいです。」

#### ◆ 3年生の部

十組：「今年も女子が頑張った。うまく時間を作って読んでるなと思った。卒業後も好きな作家がいるので読みたい。」  
「映画を見ただけの人に原作本を渡すような機会を増やしたい。私もこれから時間ができるので、少しずつ読んでいきたい。」



3年10組



2年10組



1年8組

# 今年度のベストリーダー四十二名も決定！ ベストリーダー賞

### 学年別の部

#### 1年生の部

- ★第1位 M・Iさん(56冊)
- ★第2位 H・Tさん(35冊)
- ★第3位 R・Oさん(25冊)
- ★ほか7名

#### 2年生の部

- ★第1位 M・Sさん(59冊)
- ★第2位 C・Kさん(51冊)
- ★第3位 D・Oさん(45冊)
- ★ほか7名

#### 3年生の部

- ★第1位 K・Eさん(48冊)
- ★第2位 Y・Sさん(36冊)
- ★第3位 N・Wさん(33冊)
- ★ほか8名

### コース別の部

(コース別の部は学年別の部から選ばれた人が対象)

#### スポーツコース

- ◆第1位 M・Iさん(11冊)
- ◆ほか1名

#### 進学コースの部

- ◆第1位 A・Tさん(17冊)
- ◆ほか5名

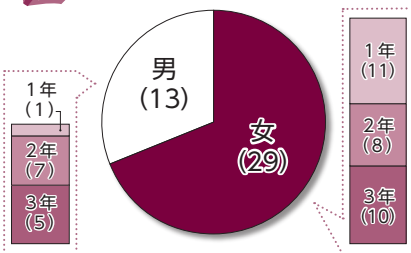
#### 特進コースの部

- ◆第1位 K・Hさん  
A・Sさん  
A・Sさん(8冊)

十一月までで集計した多読クラス賞に続いて、一月までの個人への貸し出し冊数から、今年度のベストリーダーを決定しました。今年度は昨年度と比べ、トップが寂しい結果で六十冊程度。昨年度のトップが四二六冊で、百冊以上の三ケタを読んだ人が四人もいたのに……。

入賞者たちに話を聞くと口々に本を読みたいと言っていました。「去年より全然読んでないから、もっと読みたい」、「来年も入賞できるよ継続的に本を読みたい」、「入賞者にふさわしくもっと回数多く借りて本を読みたい」、「不思議に思ったことを調べるのが好きなんです」本を読みたいと思う人は多いのでしょうか。何か一冊本を手取る時間を作るところから。気軽に図書館に足を運んで本を見に来ませんか。

### ベストリーダー男女別内訳

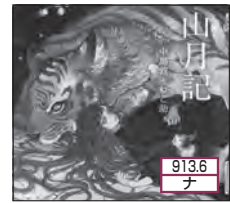


※各部門とも、令和3年4月～令和4年1月までの個人の総貸出冊数で集計

# 私の一冊

## 『山月記』

中島 敦 著



「我が臆病な自尊心と、尊大な羞恥心」  
 李徴という学識が豊富で才知に秀でた者がいた。科挙の中でも一番難しい進士の合格者となるほどのものだったが、下級役人であることを受け入れることができなかつた。そのため詩人を目指した。しかし、望みに敗れ、虎になつてしまつた。そんな李徴の教奇を語つた小説である。

この本は本を読む時間がない人や、文字ばかりでは読む気が起きない人に特にお勧めです。文章はそれほど長くなく、一日十分ほどでも一週間で読み切れます。乙女の本棚シリーズは絵が多く、画集としても楽しめる本です。今回紹介したのは『山月記』ですが、この本以外にも同じシリーズの本があります。ぜひ読んでみてください。

一年八組 奥山 果音

## 『コンビニたそがれ堂』

村山 早紀 著



夕暮れになると風早の街に現れるという不思議なコンビニ「たそがれ堂」。狐の神様が開いていると噂のそのコンビニは、この世に売っているすべてのものから、この世に売っていないはずのものまで何でも揃つていて、大事な探し物がある人が必ず見つけれれると言われています。

この本は、そんな「たそがれ堂」を訪れる人々の物語です。捨てられてしまった大切な人形を探す少女や人間になりた猫など、様々なお客さんの悲しくも心がほっこりするお話を読むことができます。

もし、あなたにも大事な探し物があるのなら、「たそがれ堂」を訪れてみてはいかがでしょうか。

二年六組 大沼 優衣

## 『LOVE&FREE』

高橋 歩 著



これは、著者とその妻の約二年間の世界一周冒険旅行の記録。スタートはオーストラリア。あとは気の向くままに。金がなくなつたら帰ろう、と決めて、世界数十ヶ国の路上を歩き、旅中に残した詩と写真が一冊にまとめられている。

オーストラリアのページ目。生き生きとした少年の写真と共に、ユーモア溢れる言葉で読者に問いかける。「キミの心の中のトムソーヤは元気かい？」と。次は東南アジア。著者はイギリス人の旅人と出会う。新たな出会いがまったく関係無いく所から生まれる。インド・カルカッタの残酷さと楽しさも体験する。そして旅は、ユーラシア→ヨーロッパ→アフリカ→日本へと続く。

私はこの本のせいで、世界を一周した気持ちになつてしまつた。そして、この本のおかげで同じ地球市民である人達の実態を知ることが出来た。「生きる」という感覚を研ぎ澄まし、姿勢を正し、向き合つて生きたい。そのために、まずは経験、世界一周だ！ 三年三組 城戸口想大

# としよかんニュース

## 本校を思つ心に感謝

日大山高校友会より図書を寄贈していただきました。毎年寄贈していただいております。昨年度は歴史や文化、食に関する図書など計十冊をいただきました。寄贈していただくのは今年で三回を数えます。

この会は山新グループの本校卒業生の会で、会長は佐藤宏樹氏です。これまでにいただいた図書は、計三六八冊になり、閲覧室内の専用書架に配架しています。

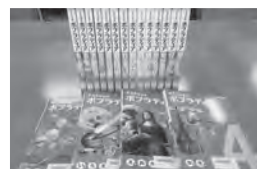
先輩方の思いに感謝し、これらの図書を活用していきたいと思ひます。



## 調べ学習のヒント！

『総合百科事典ポプラディア』が十年ぶりに全面改訂され、本校でも買い替えました。全十八巻あり、以前より見やすく軽量化されています。

閲覧室内に配架しているので、調べ学習にぜひ利用してください。



## 本を読んだ感想を絵に描く

第三三回読書感想画中央コンクールに応募し、村山支部審査で入選しました。学習や部活動に忙しいなか、作品制作に取り組んでくれました。絵を描いた生徒それぞれの、絵を通して伝えたい思いや作品に対するこだわりが見られます。

皆さんも本を読んで感じたことを、絵を通してたくさんの人に伝えてみませんか。



52ヘルツのクジラたち  
『52ヘルツのクジラたち』  
1年7組 長谷川 暖音

## 指定図書



あるべき笑顔  
『武器ではなく命の水を送りたい』  
1年3組 柏倉 理生

## 自由図書



蝶々のはばたき  
『フォルトウナの瞳』  
2年8組 鈴木 元子



# 図書委員会活動報告

## 活動目標 ● 本を手に取りやすい環境を作る キャッチフレーズ ● 一つの本から百の知識



### 交流を経て

前期委員長 三年六組 五十嵐 賢大

令和三年度図書委員長を務めた五十嵐賢大です。私は図書館で、たくさんの人と交流してきました。図書館に来る人の目的は、本当にさまざまでした。そんな彼らに共通することがあります。それは、全員が楽しそうであるということです。

多くの人は、本が好きの人が楽しそうなのは当たり前だ、自分が図書館に行っても楽しくないと思っているのではないのでしょうか。そんな事はありません。図書館にあるのは本だけではありません。親身になってくれる先生や、面白い美術品が掲載されている本など、本に興味がない人でも楽しめる場所になっています。もちろん本も多種多様で、興味のある本を必ず見つけることが出来ると思います。皆さん、ぜひ図書館に来て楽しんで下さい。



### 図書委員として

後期委員長 二年五組 金野 光留

私は一年生の頃から、図書委員として活動してきました。その経験を活かして、より多くの生徒に図書館を利用してもらいたいと思っています。

図書委員会では、生徒のリクエスト本を受け付けたり、書店での図書選定で新刊本を購入するなど、本を読んでもらう為の様々な取り組みを行っています。しかし、未だ図書館を利用した事の無い生徒も少なくありません。そういった方々にも、本に興味をもってもらえるよう、新着本の掲示や図書通信などにも力を入れていきたいです。

また、「本を手に取りやすい環境を作る」という委員会目標も達成していきたいです。

今までの先輩方のように活動に努めていくつもりです。これからもどうぞよろしくお願ひします。

## 令和3年度 図書委員会

月～土曜日の6つの班があり、A(読書推進)、B(資料装備)、C(広報データ)の3グループに分かれています。執行部を中心に利用しやすい図書館を目指し、日々活動しています。

- |     |          |          |
|-----|----------|----------|
| 1組  | 今田 歩希(前) | 吉田 心夢(前) |
| 2組  | 菅井 颯(前)  | 三沢 風太(前) |
| 3組  | 高橋 学士(後) | 石山 幸守(後) |
| 4組  | 清野 桜花    | 柏倉 理生    |
| 5組  | 横倉 優香    | 鈴木 魁人    |
| 6組  | 柏倉 将人    | 中澤 琉生    |
| 7組  | 遠藤 福来    | 工藤 隼瑛    |
| 8組  | 尾形 聡子    | 奥山 果音    |
| 9組  | 大山 了輔    | 奥山 大祐(前) |
| 10組 | 高橋 遼平(前) | 東海林雅宏(後) |
- 2年生**
- |     |          |          |
|-----|----------|----------|
| 1組  | 鈴木 煌大    | 丸田 流星    |
| 2組  | 國分 羽流    | 八畝 誓心    |
| 3組  | 高野 宏倫    | 松田 瑠也(後) |
| 4組  | 秋場 徳仁(前) | 高橋桃菜美(前) |
| 5組  | 清野リカコ(前) | 高橋桃菜美(前) |
| 6組  | 石山明日香(後) | 小室 響己(後) |
| 7組  | 石山明日香(後) | 小室 響己(後) |
| 8組  | 石山明日香(後) | 小室 響己(後) |
| 9組  | 石山明日香(後) | 小室 響己(後) |
| 10組 | 石山明日香(後) | 小室 響己(後) |
- 3年生**
- |     |         |          |
|-----|---------|----------|
| 1組  | 志鎌 幹太   | 三浦 大河    |
| 2組  | 伊藤 来瑠   | 佐藤 希海    |
| 3組  | 城戸口想大   | 田澤 洸太    |
| 4組  | 木村 匠    | 竹田 匠吾    |
| 5組  | 遠藤 華鈴   | 深瀬 利宗    |
| 6組  | 五十嵐賢大   | 加賀 悠希    |
| 7組  | 押野 友香   | 鈴木 佳乃    |
| 8組  | 石黒 崇嗣   | 松田 春汰    |
| 9組  | 結城 一路   | 松田 春汰    |
| 10組 | 岡 知里(前) | 菊地 孝太(後) |

※(前)：前期のみ (後)：後期のみ

**〈前期執行部〉**

委員長 3年6組 五十嵐賢大

副委員長 3年7組 鈴木 佳乃

グループリーダー

A 3年4組 竹田 匠吾

B 3年7組 押野 友香

C 3年6組 加賀 悠希

2年生代表 2年5組 小出 浩輔

---

**〈後期執行部〉**

委員長 2年5組 金野 光留

副委員長 2年5組 小出 浩輔

グループリーダー

A 2年7組 三浦 雄真

B 2年10組 川俣 知央

C 2年7組 高橋 洸気

1年生代表 1年7組 工藤 隼瑛



後期執行部です。よろしくお願ひします！

# 年間図書貸出ベスト10

書名	著者名	請求番号
1位 『オルタネート』	加藤シゲアキ	913.6 カ
2位 『ないものねだりの君に光の花束を』	汐見 夏 衛	913.6 シ
3位 『リセット』	如 月 ゆすら	913.6 キ
4位 『滅びの前のシャングリラ』	凧 良 ゆう	913.6 ナ
5位 『52ヘルツのクジラたち』	町 田 そのこ	913.6 マ
6位 『緋弾のアリア』	赤 松 中 学	913.6 ア
7位 『掟上今日子の備忘録』	西 尾 維 新	913.6 ニ
8位 『かがみの孤城』	辻 村 深 月	913.6 ツ
9位 『この本を盗む者は』	深 緑 野 分	913.6 フ
10位 『推し、燃ゆ』	宇佐見 り ん	913.6 ウ

令和4年1月31日現在

今年度の日大山高生には、本屋大賞2021にノミネートされた小説が多く読まれました。また、『掟上今日子の〜』シリーズや『緋弾のアリア』なども、根強い人気があります。他にも今年度映像化された作品の原作などもあるので、見比べてみるのも面白いかもしれませんね。

来年はどんなランキングになるか楽しみです。

(2年 川俣知央)



## ライブラリーフォト

～図書館・図書委員この1年～

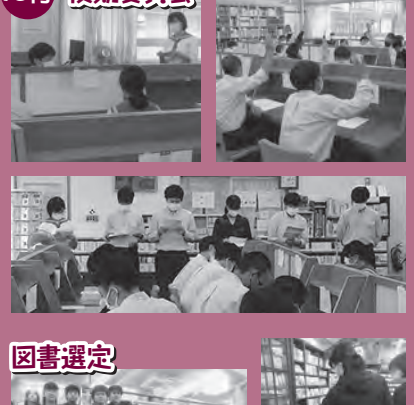
4月 前期委員会



7月 蔵書点検



10月 後期委員会



6月 図書選定



雑誌リサイクル



8月 桜華祭



高教研村山支部図書委員研修会



12月 雑誌リサイクル



### 編集後記

図書委員会では例年桜華祭で行っている古本市が今年度はできなくなり、委員長や副委員長の執行部に何をやるか持ちかけたところ、「何かやりたい」という前向きな話し合いになりました。それには少し驚きました。執行部を中心に、全校生へのアンケートの実施や皆さんがあまり目にしたことのない本の展示、館内装飾などを行い、疲れとともに充実感を味わうことができました。コロナ禍だからこそ、自主性や他者を思う気持ちが大事だと改めて感じました。生徒の意欲や思いが反映されるよう、これからも図書館活動に取り組んでいきたいと思ひます。(芳賀)